

御代田町新社会体育施設建設基本計画【概要版】

①基本計画策定の目的

御代田町は、浅間山の南麓に位置し、豊かな自然環境と良好な住環境を有する地域です。近年は人口の増加や定住の進展が見られる中、町民の健康づくりや生涯スポーツの推進、地域コミュニティの活性化に資する環境の充実が求められています。

本計画の対象施設は周辺施設を含め、これまで町民のスポーツ活動や交流の場として利用されているとともに、指定緊急避難場所としての役割も担っており、地域における重要な公共施設として位置づけられています。

一方で、整備から一定の期間が経過していることから、施設の維持管理や機能のあり方について検討が求められているとともに、近年のスポーツニーズの多様化や利用形態の変化に加え、観覧や交流機能の充実、快適性の向上など、施設に求められる役割が広がってきています。また、災害時における避難所としての活用や、安全性への配慮、誰もが利用しやすい環境づくりなど、公共施設としての機能についても整理が必要となっています。

こうした状況を踏まえ、御代田町における社会体育施設の今後のあり方について整理し、施設の機能、規模、配置および整備の方向性を検討し、今後の具体的な設計および事業化に向けた検討を進めていくためのものとして、本基本計画を取りまとめました。

②対象施設と新施設の設置場所について

建設地は北佐久郡御代田町御代田 4107 番地他です。ヘルスパイオニアセンターを解体撤去し、新たな社会体育施設を整備します。その後 B&G 海洋センターを解体撤去し、駐車場を整備する計画とします。

周辺には、屋内ゲートボール場、弓道場、芝生広場が隣接している他、テニスコートや雪窓公園(町営グラウンド)など体育施設が集積しています。



- 用途地域: 準工業地域
(建ぺい率/容積率: 60%/200%)
- 対象敷地: 約 23,190 ㎡

■御代田町ヘルスパイオニアセンター



開設年月 1980 年 3 月【45 年】

施設規模 435 ㎡

■御代田町 B&G 海洋センター



開設年月 1980 年 11 月【45 年】

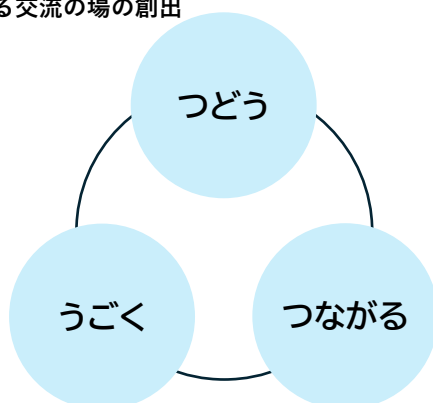
施設規模 体育館: 747.30 ㎡
ミーティングルーム: 40.67 ㎡

③御代田町新社会体育施設の整備コンセプト

本施設は、スポーツを通じた健康づくりや交流の促進を図るとともに、多様な世代が安全・安心に利用できる、町の新たなスポーツ・交流拠点を目指します。

「つどう」、「うごく」、「つながる」
誰もが気軽に集まり、利用を通じたスポーツと交流の場

世代を問わず誰もが気軽に集える交流の場の創出



スポーツに親しみ、心身ともに健康づくりができる

人と人とのつながりや安全安心を享受できる

①スポーツに気軽に親しみ、活発な活動を通して健康づくりなどに取り組む拠点となる施設

②スポーツを核に様々な世代や立場の人が集い、利用や交流ができる施設

③次世代の子どもが健全な育成や学びを得ることができる施設

④スポーツを通じた活動などを通し、地域の価値やイメージ向上につながる施設

⑤災害に強いまちづくりとして、地域の安全や安心につながる施設

④敷地利用計画

御代田町新社会体育施設は、町全体のスポーツ環境の向上と効率的な施設運用を図るとともに、林エリアを含む既存環境を活かし、周辺環境との調和や利用者の快適性に配慮した計画とします。

また、町のスポーツ拠点として、多様な利用に対応可能な施設配置を計画するとともに、災害時には避難拠点として機能するよう、安全性や避難動線を確認した計画とします。

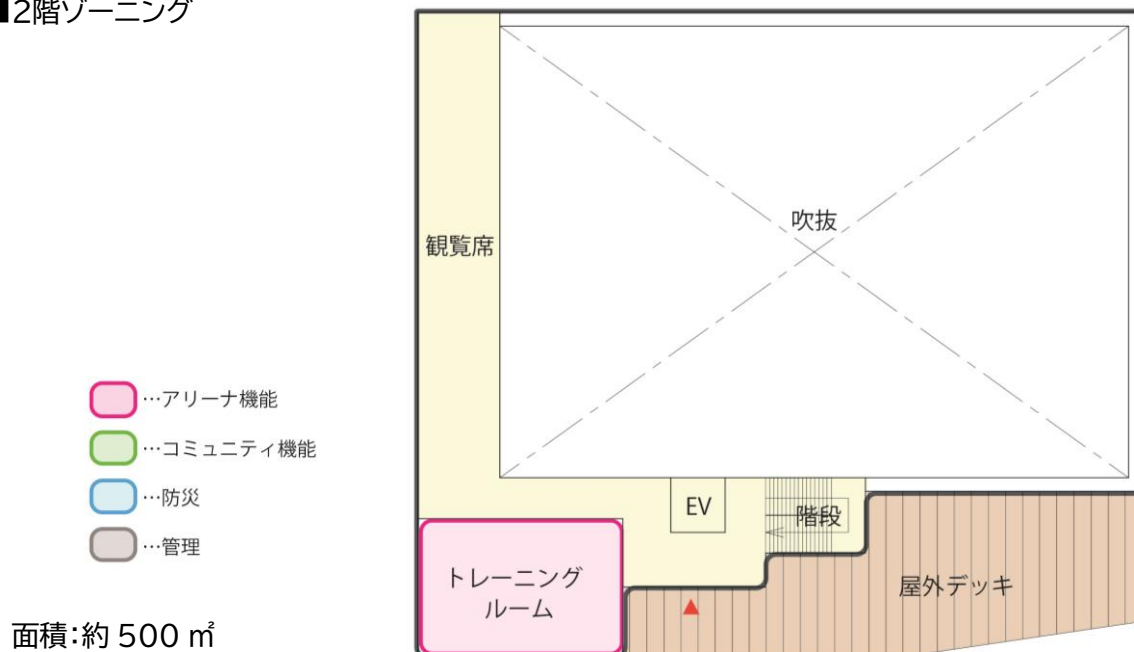
さらに、駐車場は現状以上の台数を確保するとともに、バス駐車場についても検討します。加えて、既存施設や広場空間を活用しながら、敷地全体においてバリアフリーおよびユニバーサルデザインに配慮し、誰もが安全かつ円滑に利用できる環境整備を図ります。



⑤施設ゾーニングイメージ

施設面積は約 3,000 m²とし、ゾーニング計画においては、アリーナを中心とした施設構成を基本とし、利用者動線、管理動線、機能配置の合理性および事業費制約を踏まえ、日常利用から大会利用まで円滑に対応できる計画とします。

■2階ゾーニング



・観覧席とトレーニングルームを 2 階に配置し、健康維持のための運動ができる機材を設置します。

■1階ゾーニング



- ・アリーナを中心とした明快な施設構成とし、主要機能を合理的に配置します。
- ・更衣室、シャワー室、倉庫、事務室等はアリーナに近接配置し、運営効率を高めます。
- ・ホワイエを中心とした動線構成とし、各機能へのアクセス性を確保します。

⑥各機能における推定面積と要求諸室

機能ごとの面積と要求諸室について、以下に示します。

機能区分	推定面積 (㎡)	要求諸室	備考
アリーナ機能	約 2,200	アリーナ、観客席、トレーニングルーム、更衣室、シャワー室、トイレ、多目的トイレ、体育館用倉庫	競技・大会・日常利用に対応
管理機能	約 420	事務室、書庫、機械室、電気室、ポンプ室	運営・設備管理
コミュニティ機能	約 100	会議室、多目的室	地域利用・交流機能
共用部	約 250	ホワイエ、授乳スペース、廊下、階段、EVホール	動線・滞留・交流空間
防災機能	約 30	防災倉庫	備蓄・災害対応

⑦今後の進め方

事業スケジュールについては、令和 8 年度以降、新施設の整備等を順次進めていきます。

建築事業費については、地域未来交付金等の交付金等の活用も想定しながら約 21 億円(税抜)を見込みます。

○本体工事

- ・令和 8 年 8 月～ : 用地測量
- ・令和 9 年 8 月～ : 基本設計・実施設計
- ・令和 10 年 7 月～ : 本体工事
- ・令和 11 年 10 月 : 供用開始

○ゲートボール場改修工事

- ・令和 9 年 4 月～ : 基本設計・実施設計
- ・令和 9 年 6 月～ : 改修工事

○解体工事

- ・令和 8 年 8 月～ : アスベスト調査
- ・令和 9 年 4 月～ : ヘルスパイオニアセンター解体設計
- ・令和 9 年 11 月～ : ヘルスパイオニアセンター解体工事
- ・令和 10 年 11 月～ : B&G 海洋センター解体設計
- ・令和 11 年 10 月～ : B&G 海洋センター解体工事

○外構工事

- ・令和 12 年 2 月～ : 外構工事
- ・令和 12 年 8 月 : 引渡し